



NPO PTPL “ともいき” 便り No.101

平成 28 年 (2016 年) 6 月 5 日発行

■芒種 6月5日から6月20日までの節気

遊歩道のアジサイが咲き始め、タチアオイがピンクの花を咲かせながらいい姿勢で立っています。「芒種」の節気に入りました。芒種の「芒」は、イネ科の植物の実の先にあるツンツンした毛のことで、イネ科の植物の種をまくころという意味だそうです。梅の実が黄色くなり、梅雨入りのニュースも気になります。気象庁のホームページでは、「梅雨入り、梅雨明け」速報を見ることができます。関東地方は去年は6月3日でした。平年は6月8日ごろのようです。みなさまのお住まいのところは、いかがでしょう。

さて、芒種の節気の行事や記念日をいくつかピックアップしてみます。8日は「世界海洋デー」。9日は「旧端午の節供」。まさに花菖蒲が満開です。旧暦のころは、梅雨の時期に端午の節供を祝っていたのですね。雨にぬれて泳ぐ鯉のぼりは、まさに滝登りの鯉の姿ですが、和紙で作られていた鯉のぼりは、雨にぬれても大丈夫だったのでしょうか。雨がふると、取り込んだのかもしれないね。10日は「時の記念日」。11日は岩手県のお祭り「チャグチャグ馬コ」。14日は「五輪旗制定記念日」。オリンピックの5大陸をあらわす五輪マークが1914年のこの日に決定されました。そして19日は「父の日」。このほかにも記念日があります。ぜひ「ともいき暦」で行事や記念日の由来、詳しい解説をご覧ください。

(ともいき暦 <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>)

私は「芒種」のころが好きです。雨が続けてじとじとするし、蒸し暑い日もあってあまり人気のない節気だと思いますが、なにが好きかというと、ふんわり咲いているあじさいの可愛らしさ、群生しているドクダミの美しさ、ふいにおってくるクチナシの甘い香り。そしてぷくぷくしたびわと梅の実。今年も我が家の庭にあるびわの木に実がなりました。この木は弟が小学生のときに給

食でたびわがあまりにおいしくて、種を庭にうえたら、すくすく成長してくれました。もう50歳ぐらいになるでしょうか。実をつけるまでにずいぶん時間がかかりましたが、年を経るごとにおいしくなっていくような気がします。でもいつ食べるかが問題。毎年食べ頃を知っている鳥たちと競争です。

青梅は梅干しや梅酒にする方も多いと思います。私は氷砂糖を加えて梅シロップにします。1ヶ月待たなければいけません。ちょうど7月に入って暑くなるころにできあがります。手作りとはいえないくらい簡単な作業ですが、できあがるまでの待ち時間もまた楽しいものです。息子の家でも毎年梅シロップを作っています。先日、「おかあさん、かどの家で青梅配ってますよ。もらってきちゃった。一人一袋。もう、少ししかないから早く行った方がいいですよ。」とM子さん（息子のお嫁さん）が教えてくれました。ちょうど生協で青梅を買ったところだったので、もらいにはいきませんでした。庭の梅の木の実を配ってくれるなんていいなあと思いました。そのお宅は私の幼馴染の家で、勝手口のところに梅の木があります。毎朝小学校に行くときにその梅の木の下で、「ち～え～こちゃ～ん」と呼んだものです。亡くなったおばさんが漬けた梅干しをよくもらいました。55年ほどたった今年は、息子の家の梅シロップになります。毎年毎年、何年も何年もこの時期に実をならせている梅の木。ありがとう。あなたは、すごい。

みなさんは、二十四節気のなかで、どの節気が好きですか。芒種のころ、健やかに過ごしてください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

紫陽花（アジサイ）、「あじさいの国、日本」。

沖縄の「梅雨入り」を聞くころになると、東京のアジサイが花芽を出し始めるころです。日本原産のアジサイは梅雨を彩る庶民的な花の代表です。」あじさい前線は5月中旬～下旬には沖縄、九州からはじまり、7月末～8月上旬には北海道にたどり着きます。

雨の季節を象徴するアジサイ、つつましい日本の紫陽花、そしてその改良種が華やかな西洋紫陽花です。いずれも強い繁殖力を持ち、(さし木、さし芽で簡単に根付きます。気に入ったアジサイを試してみてください。)花房もボリュームがあり、梅雨空の下、嬉々とした風情で花を咲かせます。(私見ですが、西洋アジサイは、赤みが強く、透明度に架けます。)

花の色が白に始まって、青、紫、淡紅と変化するところから古人は七変化、中国では八仙花と呼びました。

日本の日常の暮らしのなかにさまざまな形で深く深く浸透しています。

着物や帯の文様、いろいろな品々に紫陽花はデザインされ、装飾され、生け花、茶花としても多く使用されます。古くから和歌、俳句にも多く歌われています。それだけ日本人にとっては馴染みの深い花なのでしょう。

長い梅雨の間を和ませてくれるアジサイ、日本は「梅の国」「桜の国」「つつじの国」「あじさいの国」と言えましょう。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 今年、例年より夏日が多い日が続いたように感じられる 5 月も過ぎ、今年も梅雨の時期が迫ってきました。

じめじめした日が続くのは、あまり好きではありませんが、本文にもあるように雨の中で見るアジサイは、鮮やかで美しいと思います。

人間にとっては嫌な時季でも、植物にとっては恵みの時季。そう思いながら季節のうつろいを楽しみましょう。

- 今号で 101 号。200 号に向け、様々な季節のうつろいや日常生活における行事などをお伝えしていきます。

よろしくお祈りします。

- NPO PTPL が展開している 3 つのフェイスブックをぜひ、ご覧ください。そして、「いいね」ボタンを押してください。また、文章に対するコメントもご遠慮なくお書き下さい。

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」：

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」：

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル 7 階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp